

UBU TAWAN



広げよう 夢を 輝かせよう 命を (Expand our Dreams Make Life Shine)



産山村人権集会を通して育まれた豊かな心



～人に優しく違いを認める人権の村、産山をめざして～

12月3日(土)、令和4年度産山村人権集会が産山学園のメディアルームで開催されました。この人権集会は、産山村人権同和教育推進協議会の主催で開かれたものです。

今年のテーマは、「人に優しく違いを認める人権の村、産山をめざして」です。産山学園でもテーマに沿って、これまで学習や準備を進めてきました。

人権集会第1部の司会は、9年生の美桜名さんと穂乃花さんが務めました。

はじめに、主催者を代表して、市原正文会長より挨拶がありました。その後、人権メッセージの表彰式が行われました。作文発表では、各ステージの学園生(1st愛乃さん、2nd壮介さん、3rd心花さん)から、家族への感謝、思いなどがたくさん詰まった心に響く発表がありました。一人一人の作文発表が終わるたびに、学園生から発表者に返しの言葉がたくさん出されました。発表をよく聴いて、自分事として考え、発表者に言葉を返す学園生の姿に感心しました。

最後に、情報モラルと人権に関する映画上映がありました。映画上映に関して、NPO法人「産山守り人の会」の企画・提案により実施されました。学園生は、SNS等身近に起こるトラブルについて真剣に考え、端末の安全な使い方や相手を思いやる行動の大切さを学びました。

私たち一人一人がお互いに相手の立場を尊重し、思いやりにあふれた安心して暮らすことのできる産山村の実現に努めていきたいと思えます。(今村・堤)



「私は産山学園を〇〇な学校にしたい！」新たなリーダーたちがめざす学園の姿を熱く語る！～生徒会役員選挙、立ち合い演説会～

12月7日(水)、令和5年度生徒会役員選挙が行われました。立候補した学園生は、5～8年生の学園生9名です。まずは、産山学園をよりよくしようという思いをもって立候補したこと感謝したいと思います。

どの候補者も、産山学園をよりよくしたいという気持ちにあふれ、他学年との交流促進、挨拶運動の展開、校則の見直しなど、具体策が述べられました。また、推薦者も、候補者の人柄がよく分かる応援演説を行い、「この人に任せてみたい」という気持ちが一層強くなりました。

全員の演説が終わった後、5年生から順番に、メディアルームで投票を行いました。投票箱や記載台は、産山村選挙管理委員会から借用したものを使用しました。投票者は、立候補者のことを思い浮かべながら投票用紙に記入していました。

立候補者及び推薦者のこれまでの選挙活動の労をねぎらうとともに、選挙が迅速かつ公正・公平に実施されるよう事前準備を丁寧に行ってきた選挙管理委員会の学園生に感謝します。

